

## 会員増強を重点にした 第3次中期計画づくり

当センターでは中期計画を定め、事業運営と会員活動の指針としています。現行の第2次中期計画は来年3月に終了しますが、残念ながら会員数の目標2,750人(30年3月末2,264人)の達成は大変厳しい状況です。

現在、来年4月から始まる第3次中期計画の策定に着手しています。しかし定年延長などにより入会時年齢が上昇するなか、会員増強をどのように進めるかは大きな課題です。

当センターの存在を広くアピールし、社会参画に関心のある高齢者が、その強みを発揮できる就業機会や活動の場を増やしていかなければなりません。会員の皆さんにも、元気な高齢者を一人でも多く集めていただくことを期待しています。

(理事長 近藤 忠男)



### 台風・豪雨ほか 自然災害への対応は万全に

会員の皆さん、日々の就業お疲れさまです。先日は、観測史上初という西日本豪雨が襲ってきました。

いざ就業という時、とても出かけられないような場合、皆さんはどうされますか？センターにお問い合わせいただいても、局地的な大雨や冠水状態はわかりません。就業先へ出かけるか、就業を中止するかは、皆さん自身で判断してください。

事故の未然防止のため、安全確保には十分気を付けていただくとともに、就業を中止する場合、まずは発注先へ、グループ就業の場合は世話役さんへ必ず連絡を入れてください。



## 家事援助サービス 交流会を実施 (6月27日)

事業推進委員会では、「家事援助サービス」の就業者増に向けた取組みとして、本年度も年間3回の『家事援助サービス交流会』を予定しています。その第1回交流会を6月27日(水)に開催いたしました。当日は、既に家事援助サービスを行っている方、できればやってみたい方、新会員の方の33名が参加くださり、5グループに分かれて約1時間の有意義な交流を図ることができました。また、当日はヤクルト(株)の方々による『健康教室』を開いていただき、大変楽しい交流会となりました。

交流会については今後10/23(火)・来年2/27(水)の2回を予定しています。(事業推進委員会)

## 広報紙合同会議の開催 (6月12日)

6月12日に、リーダー、サブリーダーと広報紙配布正副責任者が一堂に会して、地区に任された広報紙配布をいかに円滑に行うかについて意見をもち寄りしました。

会議は、全体討議で前回会議の総括をし、グループ討議では、比較的班の協力体制が充実している中央、瓦木地区からの話題提供をもとに、2グループに分かれて活発な意見交換がなされました。地区の末端組織である「班」を統括する、班長、副班長の協力による、地区全体での取り組み強化が重要との認識で一致しました。

(地区地域班活動推進委員会)

### 6月の 事業実績 (前年同月比)

- 会員数：2,203人(+13人)
- 契約金額：50,087千円(△9,295千円)
- 就業実人員：1,492人(△35人)

### センター 無事故 継続日数

- 就業中：1日
- 就業途上他：282日  
(平成30年6月30日現在)



## 講習会報告

### 暮らしに役立つ**整理術**(6月6日)

西宮市消費生活専門家会議から講師を招き、12名の参加で行われました。冷蔵庫の整理、災害への備え・備蓄、財産リストの作成、情報の整理など収納に関してとても参考となる内容でした。参加者のうち家事援助の就業をしている人は1名で大半が未就業者でしたが、その大半の方が家事援助の仕事してみたいとの感想をお持ちでした。  
(講習会グループ)

### **マナーアップ講習会(応用編)**(6月15日)



トータルマナー(株)から講師を招き、芦有ドライブウェイ、甲子園口駅リンくんなどの就業者11名の参加を得て行われました。お辞儀の練習、口角を上げる練習、参加者同士でボールペンの貸し借りをしてもらうことで気持ちの良い借り方の言葉の練習をしてもらいました。高齢者は時として偉そうに見られがちなので「笑顔で接することの大切さ」「言葉づかいの大切さ」などを再認識でき、皆さんの言葉づかいや態度を見直す良い機会になったようです。  
(講習会グループ)

## 平成30年度 地区活動のポイント②

### **鳴尾地区** (鳴尾地区リーダー)

「会員になって良かった」という方が増えるよう地区運営を図っていききたい。そのためには、地区役員会、班懇親会をはじめ各種講習会などの内容充実と参加者増加、及び事務局との連携に努めたい。特に新入会員懇談会を開催し、仲間意識を醸成すべく取組みたい。とにかく、会員全ての健康を祈っていききたい。

### **鳴尾南地区** (鳴尾南地区リーダー)

会員にとって当地区は居心地が良く、顔見知りも多く、楽しい場所になるために班交流会、懇親会、いろいろな集いなど、会員交流の場を増やし、地区活動を楽しく、充実したものにしたい。又、広く女性会員の参加を求め、女性会員数の増加と女性会員の活躍の場が増える環境づくりを目指します。

### **瓦木地区** (瓦木地区リーダー)

《班例会の充実を図る》地域班活動は地区活動の基本です。班例会がより活発になるよう工夫していききたい。《ボランティアや各種催事への積極的参加推進》会員に関心を持っていただくべく『地区だより』でアピールすると共に、少なくとも「声掛け」はしていききたい。

### **甲東地区** (甲東地区リーダー)

2040年には65歳以上が4割に達する超高齢社会の中、シルバー入会動機も「生きがい・社会参画」から「経済的」に変化しています。地区としては①センターと就業情報を密にして会員就業率を上げる②役員・委員と協力して会員交流の場を増やし、楽しい地域づくりに努めたい。

### **塩瀬・山口地区** (塩瀬・山口地区リーダー)

親睦ハイキング、救命講習会や塩瀬と山口の公民館で出前健康講座を行います。地区の広さゆえ集まりづらいですが、奮ってご参加ください。地域とのつながりを深めるホタルの生育地を守る『有馬川クリーン作戦』(山口青愛協・山口中学)にもご参加ください。

### **ぴよぴよサロン**

(6月13日)



恒例のぴよぴよサロンが、広田山荘で、0歳児3名、1歳児4名、4歳児1名の親子8組の参加を得て行われました。協力は、地域貢献グループ7名、社会参画推進委員2名の会員の方々です。若いお母さん、お父さん達と一緒に、初対面ながら和気あいあいと和やかな雰囲気の中、ミニ工作づくり、おもちゃ遊び、紙芝居、本の読み聞かせや全員で歌を歌うなど楽しい時間を過ごしました。  
(社会参画推進委員会)